

特攻勇士に感謝と敬意を



小豆島土庄町富丘八幡神社にある「若潮の塔」の隣に立つ「陸軍船舶特幹生の像」。
向かって右から、入隊当時の学生服姿、特攻出撃時の軍服姿、海上訓練中の姿を表している。



第128号

公益財団法人 特攻隊戦没者
慰霊顕彰会
編集人 金子敬志
発行人 石井光政
印刷所 島根印刷株式会社

令和2年度慰霊行事予定	世田谷山観音寺に見る	昭和天皇陛下の御下見	新年を迎えて	新年のご挨拶	新年のご挨拶	新年のご挨拶	謹賀新年
149	8	6	5	4	3	2	目次

謹 賀 新 年

<p>公益財団法人 会 長 齋 藤 隆 副会長 吉 川 榮 治 理事長 赤 星 慶 治 専務理事 杉 本 正 彦 事務局長 長 谷 川 洋</p>	<p>公益財団法人 会 長 志 摩 篤 相談役 富 澤 暉 理事長 森 勉 副理事長 深 山 明 敏 副理事長 熊 谷 一 郎 専務理事 白 石 孝 也 事務局長 奥 村 快 郎 山 越 孝 雄</p>	<p>公益財団法人 会 長 植 木 美 知 男 専務理事 若 林 秀 夫 副会長 藤 田 信 之 副会長 片 山 隆 仁 副会長 戸 田 眞 一 郎 副会長 溝 口 博 伸 副会長 齊 藤 治 和 会 長 片 岡 晴 彦</p>	<p>公益財団法人 会 長 藤 縄 祐 爾 理事長 折 木 良 一 常務理事 増 田 好 平 常務理事 吉 川 榮 治 常務理事 片 岡 晴 彦 常務執行役 田 中 敏 明 事務局長 植 木 美 知 男</p>	<p>隊 友 会 つ ば さ 会</p>	<p>航空自衛隊退職者団体 つ ば さ 会 会 長 片 岡 晴 彦 副会長 齊 藤 治 和 副会長 溝 口 博 伸 副会長 戸 田 眞 一 郎 副会長 片 山 隆 仁 副会長 藤 田 信 之 専務理事 若 林 秀 夫</p>	<p>公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会 会 長 杉 山 蕃 理事長 藤 田 幸 生 副理事長 岩 崎 茂 専務理事兼 事務局長 石 井 光 政 理 事 白 田 智 子 小 倉 利 之 水 町 博 勝 鮎 田 英 一 大 穂 園 井 岡 部 俊 哉 久 納 雄 二 阿 部 軍 喜 羽 瀧 徹 也</p>
---	---	--	---	--------------------------	--	---

「新年のご挨拶」



公益財団法人
特攻隊戦没者慰霊顕彰会

理事長 藤田 幸生

令和新春 おめでとうございます。
令和、初の新春を、平和平穩のうちに迎えることが出来ました。

特攻隊で散華された御霊の、お陰でもありましょう。

改めて感謝申し上げます、安らかにとお祈り申し上げます。

今年、オリンピックもありません。
どのような年になるのでしょうか！

どうか、平和で戦の無い、平穩で災害の少ない年になって欲しいと、お祈り申し上げます。

私の新春の想いは、

『歩けるのは、一筋の道程

出逢えるのも、一握りの人達

出来ることも、ごく僅かなこと

しかし、想いは、 限りなく、無

限に広がります。

その想いを、 広く宇宙や、 未来に

求めて、出来るだけ多く、 感じとれる

人々世になつて欲しい！』です。

また、その気持ちは、

『兵は兵なり、 武は武なり！

人の世の 夢は夢なり！

命懸けで「和を守る」は「武の道」

なり！』です。

古人曰く、

「百年兵を養うは、 一日の為なり！」

と！

「生涯をかけて 武を磨く」は、

「和の道を残すためなり！」・・・

です。

一振りの日本刀を生涯、側に置いて、その刀から、私が、学んできた ことです。

「行光」という室町時代の刀です。

日々、打ち粉を打って、椿油を添えて、手入れをしてきました。私は生涯、薄紙の一枚も切ったことはありません。

使ったことは、ありません。

その刃（やいば）を、じっと見詰める！

そうして、 抜かずして「和」を守る神髓を、 祖先に問う。

『特攻隊員の心』、精神の強さの中に、その答えを観ます。

合掌！

「年頭の挨拶」



靖國神社 宮司 山口建史

令和二年の年頭に当り、皇室の弥栄を壽ぎ奉り、併せて皆様方の御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。また、特攻隊戦没者慰霊顕彰会の皆様には日頃より当神社に対し格別なる御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

畏くも天皇陛下におかせられましては、昨年五月一日に御位に即かせられ、十月二十二日には、高御座で御即位を全国の国民、諸外国に対し宣明あそばされました。また、十一月十四・十五両日、天皇御一代に一度行われ、御位に即かれるうえで最高の重儀とされる「大嘗祭」が斎行されるなど、一連の大札の諸儀式が厳粛かつ恙なく執り行われましたことは、洵に慶祝の極みに存じます。

一方、昨年は台風などの自然災害により甚大な被害に見舞われました。不幸にもお亡くなりになられた方々に対し謹んで弔意を表しますと共に、被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます、一日も早い復興を祈念致します。

さて、御高承の通り、昨年靖國神社は、明治二年の御創建以来百五十年という大きな節目の年を迎え、十月十九、二十日には御創立百五十年記念大祭を奉仕申し上げます、多数の皆様にご参列戴きました。また、御創立百五十年を奉祝し、豊橋祇園祭奉賛会（愛知県豊橋市）による「手筒火花」、飛幡八幡宮（福岡県北九州市）による「戸畑祇園大山笠」を始め多くの神賑行事が奉納され、御祭神もお喜びで御覧戴いたことと拝察申し上げます。

平成二十八年より「未来へつなぐ 靖國の心」の指針のもと行われました御創立百五十年記念事業は、御遺族・崇敬者各位の御支援を戴き、お蔭をもちまして、令和三年四月に完遂予定の拝殿耐震化工事を除く、事業計画を無事に終えることができました。これも偏に御祭神の御加護と記念事業の趣旨に御理解、御賛同戴きました皆様方の御尽力によるものと衷心より感謝申し上げます。

とりわけ、昨年六月十二日に竣工致し

ました「さくら陶板」は、御祭神が往時歩まれたであろう各地の縁ある故郷の土を使用し、我が国が誇る伝統文化である陶磁器を用いて、神社の象徴ともいえる桜をモチーフに、各都道府県の著名な陶工の皆様にご制作奉納戴いたものです。御参拝の折に、是非御高覧戴ければ幸甚に存じます。

本年は、大東亜戦争終戦より七十五年目を迎えます。愛する家族、麗しい故郷、そして祖国を守るために、崇高なる精神を以て尊い一命を国家に捧げられた御祭神の御心を思うとき、これを次世代に語り継いでいくことこそが、今を生きる私どもの使命であり責務でもあります。戦争体験者や御祭神を直接知る御遺族の高齢化が進む中、職員一同、日々の祭祀を厳粛に斎行申し上げ、将来の神社の進むべき方向を見定めていきたいと存じます。また、各県の護國神社にも御参拝戴き、奉慰顕彰と感謝の誠をお捧げ戴ければ大変有難く存じます。皆様方には、引き続き変わらぬ御支援、御協力の程お願い申し上げます。

結びにあたり、皇室の弥栄、我が国の安寧、また今年一年が皆様方にとりまして実り多き良き年となりますことを祈念申し上げます、新年の御挨拶と致します。

東京都世田谷区長 保坂展人



新年明けましておめでとうございませう。令和の時代のもと、新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

令和の元号は、日本最古の歌集で幅広い階層の人々が読んだ古えの歌が収められている万葉集、「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は眼前の粉を披き、欄は珮後の香りを薫す」の文書からの引用とされています。考案したとされる国文学者の中西進さんは、「気品のある端正な美、これが私の『令』の語感です。美しいという日本語に最も近いでしょう。これに『和』を組み合わせることで、麗しく平和に生きる時代を築いていこうという切なる願いが込められています。」と語っています。

平和で、美しい花を大きく咲かせる時代であること、この一年の平穏を皆様とともに願っています。

さて、今年はいよいよ、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、7月の開会まで200日余と迫りました。1964年の東京オリンピックに続き、2度目の夏季大会となります。世田谷では、前回に続き区内馬事公苑で馬術競技が行われ、バレーボールなどの会場となった駒沢公園から聖火リレーがスタートします。駒沢公園は、駒沢ゴルフ場を前身として、1940年に予定された戦争の激化と共に返上し、中止となった幻の第12回東京オリンピックの主会場予定地でした。1964年、56年前の第18回東京大会は、敗戦の荒廃から立ち直り、戦後大きく復興をとげたわが国の勇姿を国際社会へ送り届ける「平和の祭典」となりました。期間中にテレビやラジオを通じて流れるアスリートの姿に一喜一憂し、その熱気と大きな感動は昨日のことのように、私たちの世代の胸に深く刻まれています。

オリンピックを契機に東京の街も暮らしも変わりました。首都高速道路、新幹線など基盤整備が大きく進み、生活スタイルも変わり、経済社会の発展・平和で豊かな社会へ大きく踏み出しました。その後、平成の時代をへて、今日の令和時代の平和の祭典のオリンピック大会が到来します。

今日でも語り継がれる、こうした戦後

の平和で豊かな社会を、築きあげた、その『礎』には、多くの若者たちの尊い犠牲があつたことを忘れてはなりません。

70年前、戦禍激しい絶望的な中で、平和な世を願い、そしてご家族や親しい方を想いつつ、命を散らした特攻隊員の皆様方の存在です。

昨年、第68回の年次法要に参列させていただきました。改めて命と平和の尊さを思いを馳せ、先の大戦の犠牲となられた方々に祈りを捧げる貴重な機会となっています。

挨拶の機会をいただき、昭和18年12月の学徒出陣により学業半ばで海軍に入隊し、昭和20年4月に鹿児島より沖縄に向けて特別攻撃隊として出撃した山下久夫さんの遺稿集「わが命 空に果つるとも」から日記や短歌、ご家族へ送られてきた書簡を紹介させていただき、犠牲となられた皆様への哀悼の誠を捧げました。

わが国は戦後70年以上に渡り世界中のどの国とも1度も戦火を交えることなく、平和の歴史を積み重ねてまいりました。遠ざかる歴史の中で、その教訓を後世に伝えてきた皆様をはじめ、先人のご努力あつてこそこのことと存じます。平和の祭典の中でこそ、平和への思いを、ともに若い世代にしっかりと伝えてまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

年頭のご挨拶



(特攻隊戦没者慰霊顕彰会会員)
外務副大臣 参議院議員 佐藤正久

新年明けましておめでとうございます。旧年中も皆様のご支援のおかげで、議員活動に邁進することができましたこと、また参議院議員として三期目に送り出していただけましたこと、紙面を借りて御礼申し上げます。

年頭にあたり、長引く米中対立について考えてみたいと思います。

米国が中国に対して問題視しているものは以下の二点といわれています。●年間四千億ドルを超える対中貿易赤字の問題

●サイバー覇権や強制技術移転、市場歪曲的な産業補助金、知的財産侵害等の構造問題

米中対立は、貿易問題を超えて中国の構造問題にまで広がりを持つものであり、換言すれば、米国は中国の発展戦略の在り方そのものを問題にしているといえます。

先に挙げた二点のうち、前者の問題は、トランプ大統領の言うところの「デール」が行われる可能性はあるかもしれませんが、後者の問題は長期の根幹に関わる問題と認識されているからです。一方、中国にとっては体制そのものを揺るがしかねない内容であるため、合意に達するのは容易ではありません。

米中対立の一つの原因に「中国製造2025」があります。これは、「総合力を高め、国家の安全を保障し、

世界強国を構築する」ために、国家戦略として①イノベーション、②デジタル化、③国産化を進めていくというものです。

これに加え、中国は、昨年1月に新たな国家戦略として「中国標準2035」を打ち出しました。詳細は不明ですが、デジタルやIT分野の新技术について国内規格を統一し、これを国際的に広めていこうというものです。

新たな技術分野のルール形成において主導権をとった国は、その技術の普及において圧倒的に有利な立場に立ちます。「中国標準2025」で強くなつた国内製造業が、今後世界を圧倒していくための条件を「中国標準2035」によって整えていこうということであろうと考えられます。2035年は中国にとって「革新型国家の上位に上り詰める」という年(第十九回党大会報告)になりますので、この具体化でもあるわけです。

米国やわが国から見れば、まさに同じ理由で「中国標準2035」に対しては正当な警戒心を持たざるを得ないわけです。

オバマ政権までは、国際社会における中国のあるべき位置づけをしっかりと見据え、世界第二位の経済大国に相応しい、他の先進国と変わらないより大きな責任と負担を引き受けるよう促していくという「関与」政策が基本的な考え方でした。他方、トランプ政権は、これまでの「関与」政策は失敗と認め、中国を覇権国家、修正主義国家として、直接交渉により、知財盗用や強制的技術移転の是正等、中国の構造変革を促す方向に舵を切りました。

一方で、こうした発展戦略は、時に他の開発途上国に過度の財政的負担を加え、発展の機会を奪い、また、国際経済秩序に過大な負担を与えているという指摘もあります。さらに言えば、中国の経済成長率は鈍化したとは言え、6%弱の水準を保っています。今後の趨勢については、様々な国際機関が推計を行っていますが、10年後には米中国製造2025にせよ第13次五カ年のGDPが逆転するのではないかとの推計もあります。このような状況の中

「世界最大の発展途上国」として、中国は第19回党大会でも、「世界最大の発展途上国」としてのわが国の国際的地位は変わらない」と宣言しています。

者であり続けながら、宇宙、サイバー、AIを含む軍事・科学技術等で、その影響力を世界に拡大していくことは、国際

改革開放政策以降の中国の外交政策は、米国をはじめとする西側社会から社会的な長期的な平和と安定にとっても望ましくなく、これは明白といえるでしょう。



福寿草（別名 元日草）
春を告げる花の代表

新年を迎えて



(特攻隊戦没者慰霊顕彰会会員)
参議院議員 宇都隆史

特攻隊慰霊顕彰会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。航空自衛隊出身、「空翔ぶ参議院議員」こと宇都隆史（うとたかし）です。昨年は公私に渡りご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、私事ではございますが、二期目の活動もいよいよ折り返し地点を過ぎ、再来年の3期目となる選挙に向けて、事務所一丸となって邁進して参ります。国会においては、昨年と同様、国会対策委員会、兼ねて外交防衛委員会

筆頭理事として、議会活動を精力的にこなしております。

本年も倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

本年は、我が国が先の大戦に敗れてから七十五年目となります。当時の戦争に従軍したお年寄りの方々もだんだんとなくなり、戦争を知らずに育った世代がほとんどを占めるようになりました。

戦後の経済復興の一方で安保闘争が激しかった戦後の「昭和時代」。世界経済の低迷と冷戦の終結によりテロや紛争が相次いだ「平成時代」。そして、今私達は新たな「令和時代」を迎えています。

昭和時代や平成時代よりも、もつと複雑で不透明、かつ不安定な国際情勢の中、今こそ改めて先の大戦を振り返ると共に、英霊の顕彰を通じてその声に耳を傾け、令和時代の日本の安寧と発展を心から祈りたいと思います。また悠久の歴史の中で国のために倒れた全ての先達らの崇高な意思を引き継ぎ、独立国家の原点に立ち還って我が国が進むべき進路を切り拓く努力が、私達政治家に求められていると思います。憲法改正については「現行

9条への自衛隊の明記」だけでよいのか、戦後日本の安全保障戦略の根幹をなしてきた「専守防衛」に軍事的合理性や抑止力は担保されるのか、日米同盟の役割分担という名の下に議論もおおざりにしてきた「敵基地反撃能力の保有」について、永遠に矛を米国に依存し続けられるのか。これらの命題を徹底したリアリズムに立脚して白紙ベースで議論し、我が国の安全保障戦略を再構築すべき時に来ていると思います。国際社会において日本が強

いリーダーシップを発揮し、また防衛省・自衛隊が万全の態勢で任務に邁進できるよう、数少ない自衛隊出身の国会議員として、外交・安全保障政策の更なる推進に全身全霊で取り組んで参る所存です。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、今年一年が我が日本国にとりまして幸多き年となり、国民の皆様が昨年同様に安心して暮らせますよう、同時に、会員の皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

昭和天皇陛下・元皇族方の特別攻撃隊戦没者への思いを世田谷山観音寺に見る

理事 水町博勝

昭和・平成から令和の新年を迎え、菅原道熙元理事長が残された文筆等から振り返り、特別攻撃隊戦没者の慰霊顕彰事業の原点である特攻平和観音の造立、開眼、遷座、観音堂に奉安、お寺と奉賛会・慰霊顕彰会の六十八年間に昭和天皇陛下、元皇族、元総理大臣、篤志家との由緒により新たな気持ちでお参りしたい。

昭和二十七年五月五日音羽の護国寺において特攻平和観音像の開眼供養は、東久邇稔彦元宮様の御臨席のもと行われました。元宮様は、敗戦の責任を取り辞職した鈴木貫太郎の後を継ぎ八月十七日に唯一元皇族の内閣総理大臣に就任、降伏文書の調印、陸海軍の解体、復員の処理を実施し、GHQの内政干渉に抵抗、五十七日の短期間で総辞職した。軍歴は陸士二十期、陸軍大将、陸軍航空本部長も歴任された。

帝国憲法下で天皇は「帝国陸海軍の大元帥」とされ、皇族男子はヨーロッパの立憲君主国の例に倣って軍の将校に任ぜられていた。

一 特攻観音堂

開眼後、特攻平和観音像の永久奉安場



特攻観音堂

所が世田谷山観音寺太田睦賢和尚により（開山昭和二十六年五月十三日）に決まり、昭和二十八年七月十二日に本堂聖観世音菩薩の傍らに遷座し供養が願主太田睦賢和尚によって行われました。

睦賢和尚は聖観世音菩薩に祈願の参詣者と、ご遺族が親族の冥福を祈る同一本堂に違和感を持たれ、特攻観音奉安の為特別な堂宇の建立を念願し、譲り受けた旧華頂宮邸の持念仏堂の移築が始まりました。

工事半ばにして願主は惜しくも遷化され、ご子息の賢照和尚が意志を継がれ昭和三十一年五月十八日に落慶、法要が営まれました。爾後十八日は月例法要日となつて今日に至ります。

二 厨子・金箔の蓮の花

当初の厨子は大きすぎて観音堂に入らず、新たに厨子が造られ、その際正面の扉に菊の御紋章を飾ることを宮内庁に願ひ出て、特攻様に付けずして付ける所が何処にありましょう。と承諾されました。



観音堂内の厨子

この厨子の両脇に「金の蓮の花」が飾られています。

これは昭和三十七年五月五日、特攻平和観音像の開眼十周年目に当たって、畏れ多くも昭和天皇・香淳皇后両陛下から賜った御下賜金を基にして作られたものです。

特別攻撃隊の作戦は、昭和十九年十月二十五日神風特攻隊が初出撃、翌日及川軍令部総長は比島の戦闘経過について奏上。「そのようにまでせねばならなかったのか、しかしよくやった」伏していた特攻作戦を始めて承知された。続いて十一月十二日陸軍初の特別攻撃隊「富嶽隊」「万朶隊」レイテ湾出撃、梅津参謀総長から戦果報告「御果報」になる。

戦後の「昭和天皇独白録」には、沖繩決戦について「所謂特攻作戦も行ったが、天候が悪く、弾薬は無く、飛行機も良いものはなく、たとえ天候が幸いしても、駄目だったのではないかと思う。特攻作戦というものは、実に情けに於いて忍びないものがある、敢えて之をせざるを得ざる処に無理があつた。」「海軍はレイテで戦艦の殆ど全部を失つたので、とっておきの大和をこの際出動させた、之も飛行機の連絡なしで出したものだから失

敗した。陸軍が決戦を伸ばしているのに、海軍では捨鉢の決戦に出動し、作戦の不一致、・・・私はこれが最後の決戦で、敗れたら、無条件降伏も亦已むをえぬと「思つた」と反省と決意を記された

天皇陛下の御心は、厨子の菊の御紋章、特攻観音開眼十年目に天皇皇后両陛下から御霊にお供えを賜ることにより、お伝えになられたものと拝察いたします。

三 池の中に立つ夢違観音像

特攻観音像と同じ夢違観音像の拡大模



夢違観音像

造の像は、お寺の近くに住む白木とめさんが、特攻隊戦没者の両親、取分け若い息子を失った母親の心中を思つて、婦人達で顕彰碑を建立しようと発願した。

昭和四十四年秩父、高松、三笠の三宮家からご賛助金を拝領、北白川大妃以下元皇族妃殿下からも拠金を仰いだ。これを契機として奉賛会も募金活動を開始、当時の田中総理、入江侍従長を始め、遺族戦友、有志から広く募金が集められた。像は特攻隊戦没者の顕彰像にしたいと法隆寺に許可を得て、彫刻家田畑一作・伊藤忠雄両師によつて制作铸造された。

夢違観音像は特攻平和観音像の開眼二十周年の昭和四十七年年次法要の開式に先立ち序幕開眼された。序幕の引手の一人に住職太田兼照和尚(当時小学一年生)が選ばれました。

四 特攻観音堂前の石碑

ア 特別攻撃隊の頌

白木とめさんは、顕彰像に続いて顕彰碑も立てるべくと考えていたが、実現を見ず他界された。靖国神社の遊就館再開時に「特別攻撃隊の頌」が奉納され、翌昭和六十二年年次法要日に、同じ頌を特攻観音堂正面に向つて右側回廊前に奉納された。白木とめさんの



特別攻撃隊の頌

意を実現したものと考えます。
頌の文面
 「我が国の存亡をかけた大東亜戦争においては、開戦当初から生還を期することのない特攻作戦が決行された。弱冠十七、八歳から三十歳代までの勇士が、肉親への愛着を断ち切り洋々たるべき人生を捨てて、空に、海に、陸に、決然として肉弾攻撃を敢行し、偉大なる

戦果を挙げ、ことごとく散華された。その数およそ六千柱、壮烈無比なこの攻撃は敵の心胆を寒からしめ、国民はひとしくその純忠に感涙した。

特別攻撃隊の戦闘は、真に至高至純の愛国心の発露として国民の胸奥に生き続けまた世界の人々に深い感銘を与え、わが国永遠の平和と発展の礎となつている。ここに心から愛惜の情をこめて特別攻撃隊の諸史料をこの遊就館に納め、その精神と偉業とを後世に伝える。
 昭和六十年十二月八日

特別攻撃隊慰霊顕彰会

会長 竹田恒徳

左面に同英文が記されています。

イ 吉田茂元総理の石碑

特攻観音堂の向かって左側に元総理大臣吉田茂書による石碑があります。

賢照和尚は、特攻観音堂の神髓を石碑にしたためたく、地元の賀屋興宣代議士の紹介もあり、昭和三十九年十月大磯の吉田元総理邸宅を訪ね、碑文のお願いに上がった。元総理は暫く思案したが、妙案が浮かばないので、何か案はあるかと尋ねられ、和尚から「世界平和の礎」はどうでしょうかと提示され、それだと言われ書かれたもの

と伺っております。
 此処は国に代わって特攻勇士の御霊を供養し、世界平和を願う場所です。と碑は語りかけています。



吉田元総理の石碑

五 奉賛会から慰霊顕彰会へ

奉賛会は発足以来、特攻観音法要のみを営んできたのを、世代交代と共に特攻隊慰霊顕彰会を設立、活動を全国に拡大・靖国神社で慰霊祭を行うようになり、活動目標を次のようにしました。
 ・顕彰像を東京の適当な場所に建立する

・特攻隊の資料を集め刊行する。
 ・各地の慰霊顕彰事業に貢献する。

慰霊顕彰会は昭和五十七年九月発足、会長には竹田恒徳元宮殿下を奉載しました。

活動目標のその後の結果

ア 靖国神社での特攻隊戦没者慰霊祭は昭和五十四年から春に実施され、今年は四十一回目と続いています。

イ 顕彰像の建立地を靖国神社境内とする旨神社に申し入れた。当時の池田権

宮司から口頭で社是として受け入れられないと明確に拒否の回答があった。

しかしながら昭和五十三年十二月新任の松平永芳宮司と発起人代表の竹田恒徳元宮殿下との話し合いが行われ、

当時遊就館工事閉鎖中、館再開時に館内に特攻顕彰室を設置するとの合意に達した。昭和六十一年九月再開、九号

室が特攻関係資料展示室となり、前記の「特別攻撃隊の頌」等が奉納された。慰霊顕彰事業の成果は大きい。

松平宮司は海軍機関学校出身、終戦時海軍少佐、戦後陸上自衛隊に入隊、防衛研修所戦史室勤務一等陸佐で退官、またA級戦犯の合祀も決定した。

ウ 会報「特攻」第1号は、ホームページの会報バックナンバーによると昭和

五十八年次法要記事をタブロイド判一枚で発行され不鮮明なところが多いが2号から今のB5版になった。

エ 各地の慰霊祭参加は、会報2号より

知覧・都城の二カ所の慰霊祭記事が掲載され、その後各地に拡大の様子が伺えた。

六 会長竹田恒徳元宮様

元宮様は明治天皇の外孫、昭和天皇の従弟にあたります。陸士四十二期、陸大五十期、大本営作戦課員、関東軍参謀、第一総軍防衛主任参謀、終戦時は天皇特使として満州に赴き、関東軍に停戦の命を伝え武装解除を厳命しました。

しかし満州では特攻隊員の教官であった十名が八月十九日、進入するソ連戦車群に突入した。特攻観音堂の左奥に「神州不滅特別攻撃隊」の顕彰碑が建てられ、境内に祀られている。

元宮様は騎兵将校として昭和十一年第十一回ベルリンオリンピックに馬術で参加、団体六位に入賞している。戦後日本

オリピック委員長、偕行社会長に就任されている。ご子息の三男竹田恒和氏は



「神州不滅特別攻撃隊」の碑

日本オリンピック委員会会長として今年の東京オリンピックの開催に尽力された。

竹田会長は平成四年五月逝去され、その後任に瀬島龍三氏が会長に就任された。

瀬島氏は陸士四十四期、陸大五十期恩賜首席、大本営作戦参謀兼ねて連合艦隊参謀、終戦前に竹田元宮様の後任で関東軍参謀に赴任終戦、ソ連抑留となった。瀬島龍三著「回想録幾山河」によると、

私の父のことが書かれている。「陸大卒業後昭和十四年作戦課に着任すると昭和十五年度帝国陸軍作戦計画の立案作業中、主務者は私の三期先輩水町勝城大尉、その補佐をしながら作戦計画策定の作業を覚えた。」とある。父の軍歴は陸士四十一期陸大四十九期恩賜、大本営参謀、関東軍参謀、航空本部分・教導航空軍・第六航空軍参謀、航空本部、終戦、復員局である。

父と竹田元宮様と瀬島氏三名は同じ参謀本部作戦課に在籍、のち関東軍参謀まで順に同一補職であったことに気付いた。

戦後、父は菅原道大元第六航空軍司令官の下で陸軍特攻観音像の造立・開眼供養に奔走していた。そして、後輩のお二方は慰霊顕彰会の会長に就任された。特攻平和観音像の前で元参謀の運命的なものを感しました。

七 あゝ特攻勇士之像

理事藤田幸生氏（元海上幕僚長、現理事長）の発議により、新しい事業として平成十九年四月から、全国護国神社等へ「あゝ特攻勇士之像」奉納事業を開始した。この年は鹿児島県、福井県、宮城県の護国神社に、東京都は世田谷山観音寺に建立・奉納した。



「特攻勇士之像」に読経する恵淳和尚

毎月十八日の特攻観音堂での月例法要を終えると、本坊の直会へ場所を移す。

地蔵菩薩（本人の苦を代わりに受けて下さる、俗に身代わり地蔵を通り、隣の特攻勇士之像に参集者は参拝し、お寺の本坊（旧小田原藩代官屋敷入口）の門をくぐる。全国各地の護国神社に建立した像は年一回の慰霊祭に会の代表が参列するが、此処では毎月であり、親しみを覚え

ます。

以上、主に天皇・元皇族方の思いをテーマにしました。私が中学生の時母方の祖父の葬儀に、祭壇の中央に天皇陛下からのお供物を見て驚き、大正天皇・昭和天皇の侍従武官でお仕えしたからと聞き、戦争前のことにもお氣遣いに驚きを覚え、開戦し、止まらない戦いに終止符を打たれた。皇国の護りに殉じた多くの戦士の慰霊への思いは、尽きることなくお持ちになり、世田谷山観音寺にもその一端を拝見し、筆を取った次第です。

陸海軍特別攻撃隊隊員の尊き不滅の英霊を顕現した特攻平和観音は、観音寺を開山された太田睦賢和尚の下に奉安され、太田賢照和尚により特攻観音堂に納め、落慶法要が行われ、今も続く月例法要を頂き、多くの方の慰霊への思いを石碑・像等形として残され、大田兼照和尚・太田恵淳和尚によつてお寺の維持管理・法要が続けられていること、今年も多くの方に関わりに参詣する一人として感謝申し上げます。・・・・・・・・・・完

令和2年度慰霊行事予定(当頭彰会主催及び他団体主催慰霊祭参加予定)

(慰霊行事名)	(期日・場所)	(主催者名等)
① 神雷部隊慰霊祭	3・21(土) 建長寺「神雷戦士の碑」	湘南水交会
② 宮崎県特攻勇士の像慰霊祭	3・(未定) 宮崎縣護国神社	宮崎縣護国神社
③ 第41回特攻全戦没者慰霊祭	3・28(土) 靖國神社	(公財) 特攻隊戦没者慰霊頭彰会
④ 宮崎特攻基地慰霊祭	4・5(日) 宮崎特攻基地慰霊碑	宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会
⑤ 第44回都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭	4・6(月) 都島公園慰霊碑	都城市特別攻撃隊戦没者奉賛会
⑥ 旧海軍鹿屋航空基地特攻隊戦没者追悼式	4・(未定) 小塚丘公園内慰霊碑	鹿屋市
⑦ 第53回徳之島慰霊祭 (戦艦大和を旗艦とする第二艦隊戦没者)	4・(未定) 大多布岬慰霊塔	伊仙町慰霊祭実行委員会
⑧ 第49回萬世特攻慰霊碑慰霊祭	4・12(日) 萬世特攻慰霊碑	南さつま市・萬世慰霊碑奉賛会
⑨ 第60回出水市特攻碑慰霊祭	4・16(木) 特攻碑公園慰霊碑	出水市特攻慰霊碑頭彰会
⑩ 靖國神社春季例大祭(当日祭)	4・21(火) 靖國神社	靖國神社
⑪ 沖縄県特攻勇士の像慰霊祭	4・(未定) 沖縄縣護国神社	沖縄縣護国神社
⑫ 國分基地特攻隊員戦没者慰霊祭	4・22(水) 特攻碑公園内特攻機発進の地	霧島市
⑬ 三重県特攻勇士の像奉納式	4・29(祝) 三重縣護国神社	(公財) 特攻隊戦没者慰霊頭彰会
⑭ 秋田県特別攻撃隊招魂祭	4・29(祝) 秋田市川尻惣社神社	招魂祭実行委員会

	(慰霊行事名)	(期日・場所)	(主催者名等)
⑮	第66回知覧特攻基地戦没者慰霊祭	5・3 (祝) 知覧特攻平和観音堂	南九州市・知覧特攻慰霊顕彰会
⑯	福岡県特攻勇士の像慰霊祭	5・(未定) 福岡縣護国神社	福岡県特攻勇士慰霊顕彰会
⑰	第54回特攻殉国の碑慰霊祭	5・10 (日) 特攻殉国の碑	川棚町新谷郷殉国の碑保存会
⑱	豫科練戦没者慰霊祭	5・下旬 陸自武器学校豫科練之碑	海原会
⑲	第53回三重海軍航空隊「若櫻の碑」慰霊祭	5・17 (日) 若櫻の碑霊園	香良洲神社
⑳	京都霊山護国神社特攻勇士の像慰霊祭	5・下旬 京都霊山護国神社	関西白鷗遺族会
㉑	千葉県特攻勇士の像慰霊祭	5・26 (火) 千葉縣護国神社	千葉縣護国神社
㉒	指宿海軍航空隊基地哀惜の碑慰霊追悼式	5・27 (水) 指宿海軍航空基地哀惜の碑	指宿海軍航空基地哀惜の碑顕彰会
㉓	筑波海軍航空隊慰霊の集い	5・31 (日) 県立こころの医療センター	筑波海軍航空隊友の会
㉔	義烈空挺隊慰霊祭	6・上旬 摩文仁丘義烈空挺隊慰霊碑	全日本空挺同志会沖縄支部
㉕	大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭	7・11 (土) 靖國神社	(公財) 大東亜戦争全戦没者者 慰霊団体協議会
㉖	憂国碑地蔵尊御霊祭	7・15 (水) 錨地蔵尊	錨地蔵尊奉賛会
㉗	國分第二基地十三塚原特攻隊慰霊祭	8・15 (土) 十三塚原海軍特攻碑	霧島高原ビール(株)
㉘	全国戦没者慰霊大祭	8・15 (土) 靖國神社	靖國神社
㉙	市ヶ谷台慰霊祭	9・上旬 市ヶ谷駐屯地メモリアルゾーン	(公財) 偕行会

	(慰霊行事名)	(期日・場所)	(主催者名等)
③0	高野山慰霊祭	9・上旬 高野山「空」の碑	全日本空挺同志会
③1	第69回特攻平和観音年次法要	9・22(祝) 世田谷山観音寺特攻観音堂	世田谷山観音寺 (公財)特攻隊戦没者慰霊顕彰会
③2	長野県特攻勇士之像慰霊祭	10・10(土) 長野縣護国神社	長野縣護国神社
③3	旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式	10・中旬 串良平和公園慰霊塔前	鹿屋市
③4	茨城県特攻勇士の像慰霊祭	10・中旬 茨城縣護国神社	茨城縣護国神社
③5	靖國神社秋季例大祭(当日祭)	10・18(日) 靖國神社	靖國神社
③6	千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季例大祭	10・18(日) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
③7	明野忠魂塔慰霊祭	10・19(月) 陸自航空学校・明野忠魂塔前	明野忠魂塔顕彰会
③8	大東亜戦争戦没学徒慰霊祭	10・下旬 靖國神社	大東亜戦争戦没全学徒慰霊祭 実行委員会
③9	神風特別攻撃隊戦没者慰霊祭	10・25(日) 西条市檜本神社	神風特別攻撃隊五軍神 特攻戦没者奉賛会
④0	神風特攻隊慰霊碑参拝	10・25(日) 比島マバラカット	マバラカット市
④1	第12回大阪特攻勇士之像慰霊祭	10・下旬 大阪護国神社	大阪特攻勇士之像慰霊顕彰会
④2	埼玉県特攻勇士之像慰霊祭	10・31(土) 埼玉縣護国神社	埼玉縣護国神社
④3	回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式	11・10(火) 大津島・回天慰霊碑前	周南市大津島回天顕彰会
④4	若潮慰霊祭	11・23(祝) 小豆島富丘八幡神社	若潮の塔奉賛会

(日時等詳細は顕彰会事務局又は主催団体等にお問合せ下さい。)